



様式第4号 (第6条関係)

平成29年8月2日

富士見市議会議長 尾崎 孝好 様

会派名 公明党
代表 津波 信子

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 平成29年7月19日（1日）
- 2 参加者名 津波 信子、深瀬 優子、加藤 清
- 3 場所（TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター）
- 4 調査・研修概要
(1) 健康や環境から始めるまちづくり
(2) 事業の必要性、外部委託の判断基準

5 感想及びまとめ

- (1) 健康や環境から始めるまちづくり

今後のまちづくりの主体として、広く政策等の企画・立案、実施、評価等の各段階に住民は自発的に関与（市民参加、市民協働）する事が望まれており、行政は参加できる機会と場をどのように作り、そこから地域社会の課題を解決していくのかを、タニタの健康プログラムを通して取り組んでいる長岡市や板橋区等の先進自治体や岩手県滝沢市が実施している「幸せの特等席滝沢」等の事例を通して学ぶ。

今後、富士見市も市民が主体となり市民自らが感じていける健康環境の向上等を通して「住民幸福度」の向上に向けての取り組みを推進していく。

(2) 事業の必要性、外部委託の判断基準

住民に必要とされる「地域全体の政策」を考えた場合、行政によって直接提供される政策はその一部を担うにすぎず、NPOや住民団体、町内会、民間企業、企業市民、PTA等の政策などによる公民連携が進んでいる。

公民連携が進む中、行政の取り組み方について佐賀県武雄市図書館のTSUTAYAの指定管理導入と新千代田区図書館の指定管理制度の導入の成果の検証を通して学ぶ。

【武雄市図書館】

TSUTAYAの指定管理を導入した武雄市図書館では具体的な方針として

- ①20万冊の知に出会える場所（開架10万冊から20万冊へ）
- ②雑誌販売の導入（ライフスタイルの提案）
- ③映画・音楽の充実
- ④文具販売の導入
- ⑤電子端末を活用した検索サービス
- ⑥カフェ・ダイニングの導入（スターバックスの出店）
- ⑦「代官山 烏山書店」のノウハウを活用した品揃え
- ⑧Tカード、Tポイントの導入
- ⑨365日、朝9時から夜9時までの開館時間を掲げ平成25年4月にリニューアルオープンをする。

約3年が経過しての効果は、経費縮減（従前の運営費約1.2億円から1.1億円に）、利用者数の増加、利用者層の広がりなどがあげられる。また予想外の効果として、武雄市の知名度向上、武雄市への視察増加、武雄温泉等観光への効果などもあった。

今後の戦略として「武雄市こども図書館」が平成29年10月オープン予定となっている。

【千代田区図書館】

新千代田区図書館は指定管理制度の導入に際し地域の実情に合わせた具体的な評価指標、研修室の利用者、関連古書案内件数、セミナー等開催数、コンシェルジュ案内回数、利用者状況調査、平日夜間来館者数、HPアクセス数、企画展示回数と展示資料貸し出し率、パブリシティ効果、千代田図書館サポーターズ・クラブ会員数、新書図書コーナー貸出数を設定して取り組んでいる。

公民連携の成功には

- ①役割と成果の明示
- ②官と民の責任分担の明確化
- ③発注時の契約内容の改善
- ④モニタリングの仕組み
- ⑤創意工夫のインセンティブが働く仕組み

の5点が重要である。今後、当市の指定管理事業等の公民連携が成功していく上で、地域の実情に合わせた評価指標の策定等の推進に協力していく。

*行政視察に関する調査書、概要、参考資料等は、会派にて保管